

環境自主行動計画2003年度成果(クボタ生産事業所)

項目	目標		2003年度の主な成果	評価
環境調和製品・サービスの提供	環境調和製品比率の向上を図る。	●●●●●●●●●●	環境調和製品として5つの分野において達成目標を定め製品化(27ページ参照)	
	製品アセスメント、LCA等を積極的に活用して環境性能を向上させる。	●●●●●●●●●●	浄化槽のLCAを実施(27ページ参照)	
	化学物質の使用量を削減する。	●●●●●●●●●●	自動販売機断熱材の発泡用代替フロンを全廃、フォークリフト用エンジンのEU廃車指令対応(部品含有鉛、六価クロム等の順次削減)	
	省エネルギー、省資源性能の高い製品開発を行う。	●●●●●●●●●●	自動販売機(缶):消費電力について2004年度モデル2003年度比12%削減、リサイクル三層発泡管:含有率60%廃棄回収製品使用、他	
	グリーン調達基準を明確にし、グリーン調達範囲の拡大を図る。	●●●●●●●●●●	事業本部取引先に対し、環境に対する取り組み調査等を実施し取引先と協力して環境負荷低減活動を実施(累計機械49社、環境エンジニアリング52社、産業インフラ14社)	
省エネルギーの推進、温室効果ガスの削減	エネルギー原単位を1%/年以上削減する。	●●●●●●●●●●	1998年度比2.9%削減、前年度比9.3%削減(達成事業所6事業所)	
	CO ₂ 排出原単位を1%/年以上削減する。	●●●●●●●●●●	1998年度比1.5%削減、前年度比8.0%削減(達成事業所6事業所)	
	CO ₂ 総排出量を1990年度以下に抑える。	●●●●●●●●●●	1990年度比11.6%削減(子会社含む)	
ゼロ・エミッション化	埋立廃棄物のゼロ・エミッション化を推進する。	●●●●●●●●●●	16事業所で達成(前年度比6事業所増加)	
	廃棄物の発生を抑制し、排出量を削減する。(2000年度比10%以上)	●●●●●●●●●●	24.4%削減(2000年度比、子会社含む)	
化学物質管理	化学物質の適正管理の徹底と維持向上を図る。	●●●●●●●●●●	職場毎・工程毎の物質収支による化学物質管理を推進	
	特定した化学物質等の排出・移動量を2000年度比30%以上削減する。	●●●●●●●●●●	排出・移動量の総量は2002年度比5.5%削減	
PCB関連	PCB含有機器の使用中止と適正保管を徹底する。	●●●●●●●●●●	使用中の高圧PCB含有機器39台を適正保管に切替(使用中129台、保管中626台、合計755台)	
	PCB廃棄物の無害化処理を完了する。(2015年まで)	●●●●●●●●●●	処理技術開発、処理施設設置の動向を検討(社内プロジェクトの設置により推進中)	
地域環境・作業環境保全	公害事故の未然防止に努め、発生事故ゼロを目標とする。	●●●●●●●●●●	外部に影響を及ぼす環境関連事故なし、環境監査にて異常時緊急時対策・想定重大リスクの対応確認	
	粉じん・有機溶剤等有害物質の管理の徹底及び作業環境の改善を推進する。	●●●●●●●●●●	第3管理区分職場は、2002年7月と比較して、騒音で8職場減少、有害物質で2職場減少	
環境マネジメントシステム	ISO14001等の環境マネジメントシステムの拡充、維持向上に努める。	●●●●●●●●●●	更新審査を8事業所完了	
情報開示	環境報告書等による開示範囲の拡大と充実に努める。	●●●●●●●●●●	わかりやすさの向上と情報範囲の拡大を実現	
	地域社会等、利害関係者との良好なコミュニケーションに努める。	●●●●●●●●●●	第三者による「環境報告書レビュー」を実施、2事業所においてサイトレポートを発行	
教育・啓発	従業員をはじめ関係者の環境意識向上のため、環境関連教育・啓発に努める。	●●●●●●●●●●	人材育成プログラムに基づく環境関連教育の実施	

評価 : 目標達成 : 目標一部未達 : 目標未達